

令和元年度（平成30年度実施分）個別施策評価シート

①文教厚生 委員会

評価する個別施策	<p>子どもの健全育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童センターなどを拠点とし、自然体験活動や遊びの場等の提供により、子供たちが安心して安全に過ごせる環境づくりに努めます。 ・子ども会などの地域活動の育成を図ります。 ・両親の就業等により家庭での保育が困難な子供の健全な育成を図るため、放課後児童クラブの充実に努めます。 ・放課後児童クラブや放課後子ども教室、児童センター等の子どもに関わる施設や事業の連携に努め、子供たちの居場所づくりを推進します。
----------	--

項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄は必ず記入してください。

評価項目	評価基準			判断理由・評価コメント	
	点数	チェック	評価点		
個別施策の実現に向けて順調か	概ね順調	76～100		49	<p>順調に進んでいる点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童健全育成事業について、各小学校区の整備が推進されている。 ・発達障害などの児童特性の理解が促進されている。
	どちらかといえば順調	51～75			<p>遅れている点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童センターのエアコン等の環境整備が遅れている。また、運営状況にも課題がある。 ・放課後子ども教室の運営状況（抽選問題、対象学年など）に課題がある。 ・子どもの貧困対策事業のうち「子どもの学習・生活支援事業」について行政の支援が足りていない。
	どちらかといえば遅れている	26～50	○		<p>その他コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし
	遅れている	0～25			
構成する事務事業は、個別施策を実現するために有効か	個別施策実現のために必要な内容が不足していないか			<ul style="list-style-type: none"> ・児童センターが無い小学区への改善提案。 ・放課後子ども教室の抽選もれに対する支援。 ・放課後児童クラブ、放課後子ども教室、児童センターの複合化。 	
	無駄な事業・内容はないか（不要な事業、類似事業を含む）			・なし	
	その他コメント			・なし	
施策の今後の方向	注力すべき事業・内容はあるか。どのように改善するか（事業自体はあるが、改善すべき内容を記載。委託も。）			<ul style="list-style-type: none"> ・全ての希望者が利用できる放課後子ども教室の運営を行うこと。 ・また、異年齢交流推進のため、対象学年を拡大すること。 ・放課後子ども教室の運営の見直しを行うこと。 ・運営に関わる人材（児童厚生員、スタッフ）を確保する策を講じること。 ・小学校区ごとに児童センター等の拠点整備及びエアコンの設置を行うこと。 	
	追加すべき事業はないか（事業自体無い、あるいは、不足している内容を記載）			<ul style="list-style-type: none"> ・児童センターが無い小学区への対策事業。 ・放課後子ども教室の抽選もれに対する支援事業。 ・子どもの居場所づくりのため、放課後児童クラブ、放課後子ども教室、児童センターなどの拠点を複合化する事業。 	
	廃止すべき事業・内容はあるか			・なし	
	その他コメント（不要だが廃止しない場合の理由、などを記入）			・子ども会の育成は、社会福祉協議会に移管されているが、半田市として今後の対応を検討すべきである。	
その他コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業間での連携強化と情報共有の推進を図ること。（健康子ども部、教育委員会、福祉部） 				

令和元年度（平成30年度実施分）個別施策評価シート

②文教厚生 委員会

評価する個別施策	教育相談の充実 ・子どもや保護者の悩みを解決するため、スクールカウンセラーや相談員を派遣し、教育相談の充実を図ります。
----------	---

項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄は必ず記入してください。

評価項目	評価基準			判断理由・評価コメント	
	点数	チェック	評価点		
個別施策の実現に向けて順調か	概ね順調	76～100		40	順調に進んでいる点 ・体制が整ってきたため相談件数が増加している。 ・いじめをきっかけに児童生徒会サミットが開催されている。
	どちらかといえば順調	51～75			遅れている点 ・不登校の児童生徒数が増加しており、結果が出ていない。
	どちらかといえば遅れている	26～50	○		その他コメント ・保護者に対する相談支援が実施できていないのではないか。
	遅れている	0～25			
構成する事務事業は、個別施策を実現するために有効か	個別施策実現のために必要な内容が不足していないか				・的確な対応ができる人員が不足している。 ・クオリティの高い相談員（結果の出せる相談員）の確保。
	無駄な事業・内容はないか (不要な事業、類似事業を含む)				・なし
	その他コメント				・なし
施策の今後の方向	注力すべき事業・内容はあるか。どのように改善するか (事業自体はあるが、改善をすべき内容を記載。委託も。)				・相談体制の見直しと相談対応力（チーム力）を強化すること。 ・児童生徒が直接相談できる仕組みなどを構築し、授業の一環として啓発すること。 ・行政と教育現場の連携を推進すること。
	追加すべき事業はないか (事業自体無い、あるいは、不足している内容を記載)				・保護者への相談体制の改善・強化（就労に対する配慮など）。 ・SNSによる相談窓口を開設。
	廃止すべき事業・内容はあるか				・なし
	その他コメント (不要だが廃止しない場合の理由、などを記入)				・なし
その他コメント	・問題解決に必要な予算計上を行うべき（現場の実情にあった支援員数を配置すること）。				

令和元年度（平成30年度実施分）個別施策評価シート

③文教厚生 委員会

評価する個別施策	文化財の保護 ・国・県・市指定及び国の登録文化財の保存伝承の手法や技術について、文化財専門委員を始め、専門家や学識経験者からの意見を伺いながら、恒久的な保護に努めます。 ・新たな文化財を求め、半田市内のあらゆる分野に渡り、調査・研究に努めます。
----------	---

項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄は必ず記入してください。

評価項目	評価基準			判断理由・評価コメント	
	点数	チェック	評価点		
個別施策の実現に向けて順調か	概ね順調	76～100		51	順調に進んでいる点 ・旧中埜家住宅の保存・修理が進んでいる。
	どちらかといえば順調	51～75	○		遅れている点 ・文化財の価値を周知できていない。
	どちらかといえば遅れている	26～50			その他コメント ・旧中埜家住宅が有効活用されていない。
	遅れている	0～25			
構成する事務事業は、個別施策を実現するために有効か	個別施策実現のために必要な内容が不足していないか				・PR活動が不足している。（SNSの活用。常設展示会場として、クラシティ等の利用を検討。） ・文化財を活用する事業が不足している。
	無駄な事業・内容はないか（不要な事業、類似事業を含む）				なし
	その他コメント				なし
施策の今後の方向	注力すべき事業・内容はあるか。どのように改善するか（事業自体はあるが、改善すべき内容を記載。委託も。）				・高校・大学の建築学科や建築学部との連携を強化するなど、専門性に特化した若い世代に向けての文化財理解を促進すること。 ・半田市の社会見学の一環として活用すること。
	追加すべき事業はないか（事業自体無い、あるいは、不足している内容を記載）				・半田市文化財巡りのモデルコースを作成する事業。
	廃止すべき事業・内容はあるか				・なし
	その他コメント（不要だが廃止しない場合の理由、などを記入）				・なし
その他コメント					・先人が残した文化財を有効活用できるよう検討して欲しい。